

講話会「手話ってどんな言語だろう？」

2/11(土)、梅田センタービルで開催

「手話ってどんな言語だろう？」関西学院大学手話言語研究センターは、そんな疑問に答える講話会を開く。社会における手話言語に対する理解を深め、手話言語の使用・教育・研究の振興を図るための啓発活動の一環として行う。

※一般参加可、無料、事前申し込み要

■日時:2月11日(土・祝)11時~16時30分

■場所:ホワイトホール(梅田センタービル 31F)

■プログラム

【第1部】11時~12時45分

映画「LISTEN リッスン」上映会 & トークショー

「聾者(ろう者)の音楽」を視覚的に表現したアート・ドキュメンタリー映画と、「音のない音楽」など音楽の多様性について対談

牧原 依里(LISTEN リッスン 共同監督)

小石 かつら(京都大学白眉センター)

【第2部】14時~15時

トークショー『人は言語をどう習得するか』

岡 典栄(学校法人明晴学園)

棚田 茂(埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園)

【第3部】15時20分~16時20分

ワークショップ『手話言語に楽しく触れ合ってみましょう』

手話を初めて体験する方対象。

森田 明(学校法人明晴学園)

※手話通訳・要約筆記あり

■申込方法:①氏名 ②参加希望の部(第1部、第2部、第3部参加)③所属 ④ろう者/聴者 ⑤連絡先(メールアドレス等)を明記のうえ、shuwakowakai@kwansei.ac.jpまで。

■定員:100名 ※先着順

■申込締切:2月6日(月)

■問い合わせ先:関西学院大学手話言語研究センター
(TEL:0798・54・7013 FAX:0798・54・7014)

AI(人工知能)時代の学び方を考える

2/9(木)、大阪梅田キャンパスで講演会

日本の労働人口の約49%が就く職業が10~20年後には人工知能(AI)やロボットで技術的に代替できるといわれている。我々人間はその時に備え、何を準備すればよいのか? 野外教育を専門とし、体験教育とリスクマネジメントを主に研究している甲斐知彦・人間福祉学部教授が、野外教育の可能性を参加者に体験してもらいながら伝える。

※一般参加可、無料、事前申し込み要(先着80名)

■日時:2月9日(木)14時~15時30分

■場所:大阪梅田キャンパス1405号教室
(アプローチタワー14階)

■講師:甲斐知彦・人間福祉学部教授

■テーマ:AI(人工知能)時代の学び方~野外教育のすすめ~

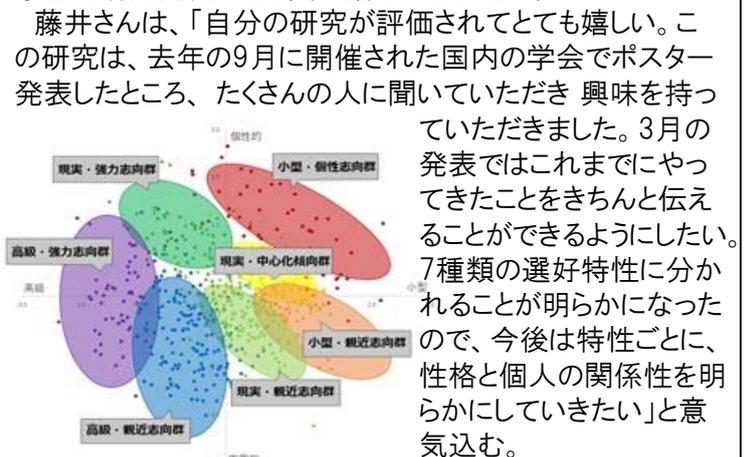
■申し込み:HP(http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)から好みと印象から自動車ユーザーを分類
~年齢・性別を超えた感性傾向を見出す

デザインやマーケティングにおいて、消費者のニーズを満たすためには、消費者個々の好みの分類が不可欠といえる。藤井豪さん(理工学研究科博士課程前期課程人間システム工学専攻)は、人が自動車の外観デザインに対する嗜好とこれに関連する印象の類似性でユーザーを分類。その結果、小型車が好きな「小型志向群」、車の好みに顕著な特徴がない「現実志向群」、高級車が好きな「高級志向群」に大別され、さらに年齢・性別によらない7種類の嗜好特性に細分化されることがわかった。このように、好みと関連する印象の類似性でユーザーを分類することにより、年齢・性別を越えた感性傾向が明らかになったという。



藤井さんのこの研究は国際学会「International Convention of Psychological Science」で「Travel Grant Award」を受賞。3月にはオーストリア・ウィーンで開かれる同学会で研究発表があり賞が贈られる予定だ。

藤井さんは、「自分の研究が評価されてとても嬉しい。この研究は、去年の9月に開催された国内の学会でポスター発表したところ、たくさんの人に聞いていただき興味を持っていただきました。3月の発表ではこれまでにやってきたことをきちんと伝えることができるようにしたい。7種類の嗜好特性に分かれることが明らかになったので、今後は特性ごとに、性格と個人の関係性を明らかにしていきたい」と意気込む。



最終講義のお知らせ

松井幸夫・司法研究科教授

■日時:2月16日(木)9時30分~10時30分

■場所:西宮上ヶ原キャンパス法科大学院棟3階模擬法廷

■タイトル:「研究生活を振り返ってー憲法、イギリス、ロースクール」

石井博昭・理工学部教授

■日時:2月16日(木)15時30分~17時

■場所:神戸三田キャンパスIV号館305号教室

■タイトル:「関学三田での思い出」

